

高校生ものづくりコンテスト2026東北大会（岩手大会）	
質問・回答（Q&A）	
質問校名	
競技部門名	電子回路組立部門
質問内容・回答	
【質問内容】 質問1：仕様書P3 入力回路の設計・製作について ア 製作に必要な仕様と電子部品等、競技直前に配布する。 とありますが、ここで言う仕様とは、「D0はトグルスイッチ」といった指定があると考えて よいか。 質問2：仕様書P3 動作チェックプログラムについて 動作チェックプログラムを動作させるために、持ち込んだ入力回路でスイッチをONにした ら動作するようにしてもよいか。 質問3：仕様書P12（4）突き出し寸法について 2.5mm を超えるものは切断とありますが、ジョイスティックのピンヘッドも該当しますか。 【回答】 質問1：仕様については、競技仕様書の通りですので、競技直前、特に指定はありません。 よって、『ア 製作に必要な電子部品は競技直前に配付する。』に訂正となります。 質問2：前日の動作確認は「事務局から事前に送付し、参加校が製作、持参した制御対象 装置が正常に動作すること」を確認する目的であるため、自作の入力装置の接続は不可と します。プログラムを実行後、自動で動作するよう記述して下さい。また、動作確認後は、 動作チェックプログラムは消去してもらいます。 質問3：ピンヘッドも該当になります。	

高校生ものづくりコンテスト2026東北大会（岩手大会）	
質問・回答（Q&A）	
質問校名	
競技部門名	電子回路組立部門
質問内容・回答	
【質問内容】 1.製図において、自作のテンプレートを使用することは可能ですか？ 2.入力回路のコネクタピンのアサイン（入力デバイスがどのピンに接続されるか）について、資料3(1)に従えば、任意で設定可能ですか？それとも、当日指定されますか？ 3. ヘッダファイルの定義や作成ルールは、全国大会で公開された「電子回路組立部門自作ライブラリ作成ルール」と同じように考えてよろしいでしょうか。？ 4. 動作チェックプログラムと持ち込みプログラム（ヘッダファイル）は別に用意しますか？それとも、昨年の東北大会同様に動作チェックプログラムがそのまま持ち込みプログラムとなりますか？ 【回答】 1.使用は市販のテンプレートになります。自作のテンプレートは不可です。 2.任意で設定可能です。 3.全国大会に準じて考えます。（自作ライブラリ作成ルールは、5月末までに全国工業校長協会ホームページに掲載） 4.動作チェックプログラムとヘッダファイルは別のものを用意して下さい。動作チェックプログラムは、前日の動作確認終了後、消去してもらいます。	

高校生ものづくりコンテスト2026東北大会（岩手大会）	
質問・回答（Q&A）	
質問校名	
競技部門名	電子回路組立部門
質問内容・回答	
【質問内容】 5. 製図において、PIN番号の横に接続先のデバイス名（TGSWなど）は記しますか？ 6. ロータリーエンコーダのつめはカットして支給されますか？それとも自分でカットする必要がありますか？また、カットした場合、1辺で支えるため、使用中に浮きが発生します。審査に影響がありますか？ 7. プログラム課題1について、TGSWを「ON→OFF」の後に再度「ON」したとき、7セグメントやフルカラーLEDの状態は保持ですか？それとも状態2のようになりますか？ 8. 課題2について、（DCモータが停止した時点の値を表示）と記載がありますが、この値はDCモータのエンコーダ部分に貼られたシールの値ですか？その場合、審査前にシールの番号と表示を合わせるようにプログラムの変数を合わせることができますか？ 【回答】 5.デバイス名（TGSWなど）は記入となります。 6.自分でカットします。浮きについては、審査に影響しません。 7.状態2となります。 8.7セグメントLEDには、ステッピングモータが指示する角度を表示します。よって状態4,6では「DCモータが停止した時点で、ステッピングモータが指示している角度を表示」して下さい。	

高校生ものづくりコンテスト2026東北大会（岩手大会）

質問・回答（Q&A）

質問校名

競技部門名

電子回路組立部門

質問内容・回答

【質問内容】

1. 大会当日のヘッダファイルの使い方について教えてください。
事前に審査して合格したものと同一ファイルを持ち込んでの利用ですか。または、事前審査で提出したテキストファイルが、大会事務局から当日配布され、それを作成する課題に組み込んで使うことになりますか？
2. 課題2の表8にある「X_+80%後原点」と「X_-80%後原点」について、これは、ジョイスティックを±80%以上まで動かすとDCモータが回転をはじめ、ジョイスティックを離しても(原点に戻っても) 回転を続け、タクトスイッチが押されるまでそれが継続するという認識で間違いありませんか。

【回答】

1. 後者となります。
手順；大会前日に事務局で用意したUSBメモリ（大会当日競技終了後の作成プログラム提出用）を、参加校持参のコンピュータで認識してもらいます。大会当日競技前に配布する同一のUSBメモリに、許可済みのヘッダファイル（テキストファイル）を書き込んでおくので、それを作成する課題に組み込んで使用してもらいます。
2. 記載の認識で間違いありません。